

最初に、献体してくださった方、ならびにそのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

解剖実習を始める前も、知識は無いながらも、人体の構造とは複雑なのだということは想像に難くはありませんでした。しかし、いざ解剖実習をしてみると、予習をした上で臨んでも、探している構造が見つからなかったり、目立った構造があってもそれが何かわからなかったりと、思い通りにいかないことが少なくありませんでした。しかし、座学でただ先生の話や、図を覚えるだけの講義と比べて、遥かに脳裏に焼き付く経験であったと感じています。また、遠い昔に、知識のある先生はおろか、実習手順書すらない中で、人体の構造を一から一般化した先人達の偉大さを実感しました。

私は歯学科ですが、口の中しか見ないからと、全身を解剖するという貴重な経験を蔑ろにするのではなく、これから口と身体全体の関係性を学び、この先も活かしていきたいと強く感じました。

人体解剖実習を通じて、第一に献体してくださった方々に心からの感謝を捧げたいと思います。私たちは実際の人の体を通して貴重な経験及び知識を得ることができました。解剖実習の最初の黙祷から感謝の気持ちと敬意を忘れずに、実習に臨みました。初めて解剖するときは、正直、緊張と不安でいっぱいでした。ご遺体を、メスを用いて解剖するということは、これまで経験したことがなく、初めは尻込みをしてしまいました。しかし、教員や班員たちと協力し、実習を進めることで、緊張が和らぐと共に自信を持つことができ、次第に臓器や組織の構造に興味を持つことができました。実習を通して、多くの有意義な経験を得られました。まず、解剖学の教科書だけでは得られないような臓器の実際の大きさや位置関係を視覚的に理解することができました。一人一人異なる構造を観察することはとても有意義でした。最後に、解剖実習を通して医療の世界への理解が深まりました。医療における解剖学の重要性を肌で感じることができ、自分の進むべき道が明確になりました。感謝の心を胸に、これからも医学の道を進んでいきたいと強く思っています。

初めに、献体して下さった方、そしてその御遺族の方へ感謝申し上げます。

教科書や講義で学んだ内容を結び付けて解剖を進めていきました。しかし、解剖を進めるにつれ、ご遺体によって個人差があり、ひとりひとり違う体を持っていくことを実感しました。改めて、自身が歯科医師になった際にも、患者様ひとりひとりにあった治療が施せるような歯科医師になりたいという自身の医療人として目指すべき像も再確認することができました。

そして、これから先医療に関わっていくためには本当に膨大な知識、そして技術力が不可欠なのだと感じ、自分がまだまだ勉強の余地があることを痛感しました。卒業するまで、そして卒業後もひとびとの健康に貢献する歯科医師として成長できるよう、努力していきたいと思いました。

改めて、実際にご遺体を解剖させて頂くという機会は本当に貴重な経験でした。献体して下さった方、またその御遺族の方に感謝申し上げます。ありがとうございます。

解剖実習を行い、教科書で見たときにはわからなかった構造の複雑さや位置関係を、初めて理解することができました。また実習を通し、歯科医師になることの自覚を改めてもつことができました。解剖実習でしか得られない経験をすることができ、大変貴重な機会だったと感じます。

実習を行う前に、私の母からは「献体してください方にはよく感謝しなさい」という言葉をもらいました。献体するという決断に至るまでに、ご家族での度重なる話し合いや葛藤があったのではないかと想像します。その中で、私たち学生を信用してくださいだったのだと考えると、その信用に応えなければと一層気が引き締まる思いでした。そして、普段信頼に足るお仕事をしてくださいている病院の先生方や職員の方々に感謝するとともに、私も患者さんに信用していただけるような歯科医師になりたいと強く思いました。また、いつも遠くから見守り、導いてくれる家族の存在も、改めて有難く感じています。

最後に、献体してくださいだった方々、ご遺族の方々、ならびに解剖実習に関わってくださいだった全ての方々に深く感謝申し上げます。この貴重な経験を糧にして、これからの道を歩んでいきたいと思えます。

解剖学実習を通して私は知識だけでなく感情的な面でも多くのことを学ぶことができた。最初の実習日、不安と興奮が入り混じった気持ちで実習着を着て実習室に入ったことを鮮明に覚えている。献体を前にして、教科書の図や模型とは全く異なる構造や臓器の配置に驚いた。手に触れることで、臓器や組織の複雑さと同時に、人間の身体的神秘を感じた。

解剖実習はチームワークの重要性を改めて理解させられる機会でもあった。仲間と協力して一つの目標に向かうことで、効率的な学習と作業が可能であることを実感した。また、毎回初めに黙祷を行うことで尊重と敬意を持って献体に向き合うことの重要性も学んだ。解剖学の知識を得る一方で、人間性に対する理解も深まったと感じている。

一方で、解剖学実習は感情的にも大きな負荷を感じる瞬間もあった。献体を解剖することは、その人の一生を尊重し、感謝することを意味している。

解剖実習を通して、医学的知識だけでなく思いやりや倫理観、プロフェッショナルリズムの重要性を深く理解した。この経験は私の将来において医学的な知識だけでなく、人間性を大切にする姿勢を持つ基盤となるものと確信している。

初めに、人体解剖実習という貴重な機会をいただき、献体してくださった方々、ご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

私はこの人体解剖実習で人体の繊細さを実感しました。初めのうちは自分でも気づかないうちに神経などを傷つけてしまい、自分では少しのズレが医療現場において重大な事態になりうることに、改めて医療従事者を目指す者としての自覚を持ち、気を引き締めなおす機会となりました。

私たち歯学部生は全身について学ぶ機会が医学部生に比べて限られていると思います。しかし、歯の健康は体の健康と言われることもあるように全身を深く学ぶことで得られること、歯学を客観的に見るができると思います。やはり実際は教科書で見るイラストや写真よりもさらに複雑な構造に感じ、とても繊細なものでした。将来歯科医師になるうえでこの貴重な経験から学んだこと、疑問に思ったことを歯学の分野に活かして歯学の発展に繋がっていきたいと思います。

今回の解剖実習を終えて、献体してくださった方、そしてそのご遺族の方に、感謝するとともに、解剖実習で得た知識、経験などをこれからの医療に活かし、貢献していきたいと思った。

解剖実習が始まる前は、自分にその役目が務まるのかと不安に思っていたが、いざ始まると責任感が芽生え、しっかりと予習復習をし、解剖を遂行することができた。終盤になるとメスやピンセットの扱いにも慣れてきて、確実に解剖の能力が向上していることが自分でもわかった。また、解剖実習を行うことで、体系的な知識を身につけることができたと思う。単語テストなどでも、実際に解剖で見たところは知識がしっかりと定着していたので、このように自分の手で解剖し、見ることの大切さを実感することができた。

この解剖実習という貴重な経験ができたのも、さまざまな人の協力があったることなので、これからも様々な形でこの恩を返していきたいと思った。

初めに、献体をしてくださった方々とそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

解剖学実習を行う前までは、座学を通して得た知識が人体の構造に関する私の知識の全てでした。単語を覚え、教科書を見て構造を理解することも人体の構造を学ぶ上でとても大切な勉強です。しかし、百聞は一見に如かずということわざの通り、解剖学実習において自らの手で解剖を行い実際に観察することには及びませんでした。解剖学実習の中では、個人差などにより本で見たものとは異なっている構造や、今まで知らなかった新たな発見に出会う度に、様々な資料で調べたり先生や他の学生に質問をしたりして理解を深めることが出来ました。このようにして得た学びは今後の勉強においても大きな財産になると感じています。

歯科医師を目指す私にとって、今回の解剖学実習は全身の構造を学ぶ大変貴重な機会となりました。ここで得た学びを必ず将来に生かせるよう、より一層精進してまいります。改めて、このような機会を与えてくださった方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

東京医科歯科大学歯学部歯学科二年となり専門科目が始まった。人体の構造について学び、大量の知識をインプットした。血管の交通、名前、神経との関係など体の様々な事を知り歯科医師として必要な教養を身につけようとしていた。

解剖実習が始まり、体の仕組みをより詳しく学ぶ機会を得ることができた。教科書や図説で体の仕組みを知ることができても、神経の位置関係や細かい交通は、実際のご遺体を見ないと理解することができなかった。歯科医師として絶対に必要な顎の神経の分布は、とても複雑である。上の顎、下の顎を支配する神経は異なるものであり、麻酔を使用する治療ではこの仕組みを理解した上で行う必要がある。ご遺体を解剖することにより様々な神経、筋肉の起始、停止部を実際に見て学ぶことができた。

口腔の健康を守っていくものとして、貴重な経験をすることができた。献体をしてくださった方への感謝を忘れずに、質の高い歯科医師を目指していきたい。本当にありがとうございました。

献体してくださった方、そしてそのご遺族様、今回の解剖実習にあたり、私たちに貴重な経験と今後の大きな成長のための機会をいただけたことに誠に感謝いたします。

最初は不安や緊張と不慣れな中から始まった実習でした。その中で、徐々に次回はどこに何が観察できそうかという目測や感覚が芽生え、それを実際に発見できたことに対する成長の実感、予想と違った時に改めて感じる献体してくださった方のアイデンティティなど、多くのことを感じました。各実習前に必ず行う黙とうを通して、献体してくださった方及びそのご遺族に対する感謝の気持ちを感じながら挑めました。また、解剖実習当日にむけて高まる緊張感や解剖時に献体してくださった方に触れる感覚は、とても印象的なものでもあり、解剖することに対する重みを感じさせるものでもありました。今回の実習から、教科書や図説の上では得られない非常に貴重な経験ができたと強く感じています。

改めて、献体してくださった方そしてそのご遺族様、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

献体してくださった方々、そして御遺族の皆様方、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

本実習では、教科書や図説を閲覧したり、講義を聴いたりすることだけでは学ぶことができない非常に多くのことを学ぶことができました。実際に解剖をする機会をいただき、人体の構造が教科書通りではなかったり、個人差が大きい器官があったりと、座学では気づけないことにも気づくことができました。また、座学で学んだことを本実習で手を動かして確認することで、知識の定着やさらなる知識の獲得をすることができました。そして言うまでもなく、本実習での経験は一般的には享受することができない大変貴重な経験であり、この経験を通して、人体の構造を学ぶと同時に、生命の尊さを肌で実感することができました。歯学科生として、将来の歯科医師として改めて歯学を一生懸命に学ぶことを決意しました。将来多くの患者さんを治療し、幸福をもたらすことを誓います。改めまして献体してくださった方々並びに御遺族の皆様方、この度は本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。

私は前期に行った人体解剖はとても貴重な体験になったと感じました。人体解剖の授業は、私が大学に入り、一番大きな授業だと去年から感じていましたし、私自身とても楽しみにしていました。歯学部に入ったのに、全身を解剖し、臓器などを実際に目にする機会が設けられていることにとっても楽しみにしていました。

実際行なってみると、私が小さい頃に見ていた人体模型とは全く違い、また、一人一人の個体差もとても大きく、実際に生きていた人なのだなど実感することが出来ました。特に印象に残っているのは、やはり頭頸部の解剖です。今まで一度も見ただ事ななかった顔の断面図を見たとき、いろいろな神経や細胞が細かく分布しており、とても勉強になりました。解剖の後、テスト勉強をしても、実際に解剖を行ったときのことを思い出しながら、紙の平面上のイメージではなく、立体的なイメージを持ちながら学習することができ、とても解剖で学んだことの大きさを感しました。

約三か月間、多くのことを学んできた人体解剖実習が終わりました。私たちの人体解剖実習のために献体してくださった方々、ご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

人体解剖実習を通して、教科書を読むだけではわからない身体の立体的で細かい内部構造や、ご遺体の個人差を理解することができました。自分自身の手でご遺体に触れて、解剖を進めていくことで、知識や技術を十分に身につけていないと、人体に手を加えるのは難しいということ学びました。ご遺体の生きてこられた人生や命について考える機会にもなりました。実習の大切さと実習を行えることのありがたさをとっても感じました。

二年生になり、専門科目を学び始めた私たちにとって非常に印象に残る実習でした。将来歯科医師として医療に関わっていくことへの決意が芽生えました。この貴重な経験を活かして、社会に貢献できる立派な歯科医師になれるように勉強に励みます。ありがとうございました。

まずは、この度解剖という貴重な機会を与えてくださった献体の方々、並びに
そのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。私達が今回座学だけでなく、実習に
て解剖学を学べたのは皆様のご理解あつてのことでした。ありがとうございますま
す。

私はこの度の解剖学実習を通し、様々な人体に関する事柄を詳しく学ぶこと
ができました。その奥深さはやはり座学では得られず、この度の貴重な人体解剖
実習あつての知識であると思っています。日々の実習においてもそのことを深
く噛み締めながら実習に臨ませていただきました。

私は大学二年に進級した際、解剖学をかなり詳しく学ぶと知り、解剖学を覚え、
理解できるかどうかとても不安でした。しかし、人体解剖学の実習を通し、座学
の内容は勿論、その他普段の授業では習わないような事柄まで学ぶことが出来
ました。この度のこの貴重な機会は今後の大学での勉学、大学卒業後の臨床にと
ても影響を与えて行くと私は考えます。

改めまして、このような貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございますま
す。

初めに、我々の人体解剖実習のために献体してくださったすべての方々、および遺族の方々に心より感謝申し上げます。

人体解剖実習はわたしにとって、あまりに貴重な体験でした。解剖実習をするにあたって、神経や血管の名前を覚えたり、教科書でそれらの場所を確認したりと予習を行ってはいましたが、最初は、まだまだ知識不足なわたしが実際に人体を前にしたときに大丈夫だろうかという不安がありました。

しかし、実際に解剖をさせていただいて、人体はひとりひとり全然違うこと、自分は教科書を通して本当に基本的な知識のみを学んでいたのだということがわかり、教科書だけでは決して学べないところまで知ることができました。進めていくうちに、だんだんと、将来自分は「人」を治療する歯科医師になるという覚悟と責任感が確かなものになっていったように思います。

まだ医療人としての自覚がはっきりとは持てていなかったわたしにこのような機会を与えてくださって本当にありがとうございました。この経験を活かし、将来立派な歯科医師になれるよう日々勉学に励んでまいります。

まず、解剖するにあたって献体して下さった方、ご遺族の方に心から感謝申し上げます。

解剖学実習を通して得たものは沢山あります。一つ目は、解剖学に関する知識です。人体の構造や臓器の位置、機能などに関する詳細な知識を得ることができました。これは医学の基本的な知識であり、臨床診断や治療に必要です。二つ目は、解剖学的な技術です。解剖実習を通じて、解剖学的な技術を磨くことができました。臓器の切開や観察、解剖学的な構造の識別などが出来るようになりました。三つ目は人に対する尊重です。解剖実習を通じて、献体して下さった方に対する尊重と倫理についての理解が深まりました。私達歯学生にとって、解剖実習は歯学教育の重要な一部であり、歯科医師としての基盤になるものでした。

また、解剖実習の際、将来自分が医療従事者になるということを改めて再認識しました。自分のもつ責任や可能性を感じる事が出来ました。

改めて、大切なご親族様を献体にご提供下さり、誠にありがとうございました。

まず初めに、献体してくださった方、遺族の方々に心からの敬意と感謝の意を表したいと思います。解剖実習初日、器具などを実習台に準備している際、頭の中が緊張で溢れかえっていたのをよく覚えています。そして、いざ実習が始まり、ご献体を前にしたとき、メスのハンドルを握りこんだまま時間だけが過ぎていききました。

そうはいつでも、しばらくすれば、ぎこちない手つきの影もなくなり、班員たちと真剣に実習に取り組むことができていました。解剖学の授業や教科書でイラストや名称をあらかじめ参照していましたが、実際に自分の目で観察するのは非常に新鮮で、新たな発見や疑問が次々と生まれ、人体の構造を学んでいるという実感がそこにはありました。このような体験は、まぎれもなく貴重なもので、今後の大学生活で経験することはないでしょう。また、今回の実習で、医歯学全体への好奇心と学習意欲が掻き立てられたようにも思います。

解剖実習を足掛かりとして、より学問に励み、立派な歯科医師を目指したいと思えます。

献体して下さいました方々並びにご遺族の方々、このような貴重な機会を与えてくださり、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

解剖実習では、教科書だけの勉強では決して得ることの出来ない、様々な経験をすることが出来ました。実習前、教科書や参考書での事前学習をもとに、着実に手順を踏めば大丈夫、と思っていました。しかし実際は想像をはるかに超えるものでした。教科書に載っている人体の構造は、色がついていたり詳しい説明がついたり、分かりやすく書かれています。実際に解剖する際は、色もついていなければ個人差もたくさんあり、教科書で学んだことを生かしきれないものどかしさを抱いたことを覚えています。そんな中、私も将来歯科医師として人体を扱い、繊細な作業が必要であることを再確認し、実習に精一杯臨みました。解剖実習を通して歯の疾患と全身の疾患が深く関わっていることを実感しました。歯科医師としても、医療従事者としても一人前になれるよう、これからも努力してまいります。献体して下さった方にご遺族の方々に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

人体解剖学実習を通じて、多くの貴重な学びを得ることができました。この機会を通じて人体の構造や機能について学んだことは、教科書や絵だけで学ぶのとは違い、より詳しく鮮明に記憶に残りました。教科書で見た単純でわかりやすい図のようにはなっておらず、複雑で個人差や例外も多い人体を実際に見て学べたことは、私たち学生にとっては、これ以上ない貴重な経験であったと、とても感謝しております。また、臓器や組織の関係性、その複雑な構造に触れることで、医学の重要性を実感しました。ご遺族の方々と献体の会の会員の皆様がいなければ成り立ちませんでした。重ねて深く感謝申し上げます。

私たちはただ知識を得るだけではなく、この学んだ知識を社会に還元し、人々の健康と幸福に貢献することが大切だと痛感しております。実習で得た知識を活かしながらこれからも勉強に励んでいきます。今後もより一層の成長と学びを追求し、社会に貢献できる歯科医師になれるよう努力してまいります。

東京医科歯科大学では、大学二年生で人体解剖実習があります。自分の中では、正直早すぎると思っていました。二年生へと進級する段階で自分の知識がこの実習に見合うものではないと率直に感じていました。そうであると自分でわかっていたので、実習が始まる前、ほとんど一から熱心に学び始めました。

やはり、人の体というのは複雑なもので、容易に理解できないことがほとんどでした。その中で、実習があり、ここで本当に多くのことを学ばせていただきました。私たちが現在、ここまで理解できるようになっているのは間違いなく、献体してくださった方、またそのご遺族の皆様のご理解があつてこそです。心から感謝申し上げます。この実習により、さらに人体を理解したいという意欲が高まりました。このような心持ちにさせて頂いたことにも感謝申し上げます。

この実習を心に刻み、これからの医療を支えていけるような人間になりたいと思っております。これが私たちにできる最大限、恩義に報いる方法だと思っております。

まずはこの人体解剖実習におかれまして、献体をしてくださった方、およびに
そのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

約二か月間解剖実習を行って、貴重な経験をすることが出来たとともにとても
も充実した日々を送らせていただきました。ご遺体を解剖する際そのための予
習を、教科書を使って行うのですが、教科書のように分かりやすく観察できると
ころは少なく、いかに人体の構造が複雑であるかというのを感じることが出来
ました。神経の剖出などの細かくて難しい作業が多くて最初は思うようにいか
ないことがよくありましたが、慣れていくと神経のある所の目星をつける力も
ついて非常に有意義な実習にすることが出来ました。実習を通して学ぶことは、
講義や教科書からでは確実に得られないものだと思うので、大学二年生という
とても早い段階でこのような体験をでき、代えがたい機会をいただいたと思っ
ております。

私は将来歯科医師になるわけですが、実習を通して学んだことや感じたこと
を十分に生かして勉学に励んでいき、これからの歯科医療の発展に尽くしてい
きたいと思えます。

まず、献体してくださった方、並びにご遺族の方々、私たちに人体解剖実習という通常では体験できない機会を与えていただき本当にありがとうございました。この人体解剖実習のあった三ヶ月間はとても有意義で密度の濃い時間でした。

座学の授業では、理解しているつもりであった分野に関しても実際に解剖を行うと動脈の走り方、神経の走り方などは教科書の記述とは異なる部分も多く一年生のときに学んでいたような教養の科目とは大きく異なり臨機応変な対応を求められることが多いということに気付かされた。医療についてのプロフェッショナルとなるということに対しての強い認識を持つことができ、どのような患者さんに対してもしつかりと向き合い丁寧な対応を行うことができるような歯科医師となるべく、この体解剖実習をある種のきっかけとして専門科目に対する向き合い方をもう一度考えささまざまな知識を身につけていこうと思います。

最後になりますが、献体してくださった方とそのご遺族の方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

初めに、献体してくださった方ならびに献体に理解を示し協力して下さったご遺族の方に心より感謝申し上げます。おそらく実際に全身の人体の構造を直接見ることができるのはこの解剖学実習のみでありとても貴重な経験をさせていただきました。

解剖学実習を行うにあたって座学を行った際には教科書や資料では分かりやすく解剖されているものが載っており、人体の構造について理解できた気になっていました。しかし自分の手で解剖を行っていく中で、血管の走り方や位置関係等といったものについてより深く理解することができ、さらには個人によって異なるものであり、とても複雑であることを実感することができました。

この解剖学実習を通して自分が医療に携わる人間になるという自覚が芽生え、さらには医療というものは患者一人一人にあった治療や対応を行う必要があることを感じました。

今や口腔状態は全身の疾患に影響を与えているといわれています。そのため歯科医師でも全身の関係について理解していることが必須となってきます。この経験は間違いなく私たちにとって貴重な経験です。感謝の気持ちを忘れずこれからも学業に励んでいきたいと思えます。

初めに、献体してくださった方々とそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。この人体解剖学実習を通して様々なもの得ることができました。

現在行っている医学の勉強はこの実習を除くとほとんどが座学であり、ただ知識として人体の構造や機能を暗記する学習にとどまってしまいました。

しかし、実習のための徹底的な予習であったり、実際に自分の目で構造を見たりすることでそれぞれが持つ意味について考えるようになりました。ほとんどの構造は教科書通りには存在しておらず、なぜ違いが生まれるのかを考えることによってより深く構造の意味を知ることができたほか、ご遺体の方の人生が垣間見えたような気がしました。また、学習に対する姿勢だけでなく医療人としての自覚も芽生えたと思います。今までは医学に少し詳しい大学生というような感覚でしたが、解剖学実習をやらせていただいたからは医学に本気で向き合うようになりました。

立派な歯科医師になることが、献体してくださった方々やそのご遺族の方々に対しての最大の恩返しになると信じて、これからの勉強においても日々本気で取り組んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。

献体の解剖をさせていただき、将来医療人として社会に貢献するという気持ち
がより一層強くなりました。

ご遺体の解剖は実習前に想像していた以上の何倍も難しかったです。毎回の
実習前には授業のノートを見返し、わからないことは自分で調べ万全の状態
で臨みました。しかし、いざ実習が始まると体の構造というものは非常に複雑で
キストに載っているような明快なものではないのだと驚嘆、実感しました。それ
でも班のメンバー、さらには他の班のメンバーとも知恵を貸し合い全力で体
の構造を勉強させていただきました。また作業を分担し、同じ班のメンバーに自
分
がわかったことを、責任を持って説明しました。解剖させていただく中で人体の
複雑さに何度も驚かされ生きていることがどれだけ奇跡的で尊いことなのかと
いうことも実感しました。

ご遺体の解剖という貴重な勉強をさせていただき献体してくださった方には
感謝の言葉がつきません。これから先、生きていることに感謝し、責任感を持っ
て今後も医療の勉強を一層頑張っていこうと思います。

今回の解剖実習を通して、非常に多くの経験をすることができた。実際の体の構造を見ながら学習をすることで、教科書やイラストでは得ることができないような深い知識を習得することができた。また、座学の授業を受けるだけでは気づかないような発見も多くあり、これまで以上に人体の構造についての理解が深まった。

特に驚いたことは、教科書に掲載されているイラストと、実際の器官などの形や構造が全く異なることがあるということだ。さらに、人体解剖実習を行ったことにより、その後の医療の学習により積極的に取り組めるようになった。これらの経験は、将来歯科医師になる上で非常に重要なものであったと思う。医療の進歩に貢献するという目的で献体された方々に、深く感謝申し上げます。

私たち医学部生、歯学部生のために、また日本や世界の医療のために献体してくださいとご遺族に、心から感謝申し上げます。

解剖学実習を通して、本当にたくさんのことを学ぶことができました。まず、体の器官がどのように配置され、つながっているのかを実際に自分の目で見て確認することができました。解剖学実習が始まった5月は不安でいっぱいでしたが、解剖学実習を通して、人間の体の構造を学ぶことへの感謝をもって勉強に励むことができました。毎回の実習のために一生懸命予習をした経験は、将来歯科医師になるうえでなくてはならないものだと思っております。また、解剖学実習を通して、将来自分がなろうとしている歯科医師という職業が、疾患の治療をする以前に、人間と関わる職業であるということを強く認識することができました。

これからも歯学部の学生として、献体してくださいとご遺族のお気持ちを忘れずに、勉学に励んで参りたいと思います。貴重な経験を糧として、感謝を忘れずに、多くの人に幸せを届けられるような歯科医師になりたいと思います。

今回、解剖実習を通して献体してくださった方の解剖を行いました。解剖実習は班でグループとなり一体のご遺体を解剖し人体の構造について学ぶというものでした。毎回の実習で行う内容が決まっており、段階別に人体の構造を学びました。そういったカリキュラムにより、実習で体の構造や仕組みを実際に目で見て理解することが出来ました。

将来人の体を治療したり診断するには、人体の構造や仕組みについてよく理解しておく必要があります。教科書を用いての勉強で、体のおおまかな仕組みについては学ぶことができます。しかし実際の人体は人によって異なります。解剖実習を通して、学んだ事を、実際に手を動かし目で見て確認することで深く理解することができました。

今回の実習で学んだことはとても貴重な経験となりました。自らの将来の勉強に活かすことのできる献体をしてくださった方に感謝しています。実習での経験を、将来患者を診る際に活かしていきたいと考えています。

まず、献体してくださった方、およびそのご遺族の方々に、今回の貴重な学びの機会を与えていただいたことに深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。ございました。

人体の構造は二年生になってからの講義や教科書等を用いた自主学習などで学んできましたが、イラストだけでは十分に理解出来ていなかった複雑な位置関係を、解剖実習で実際に自分の目で見て考えながら理解することにより、理解を深めることが出来ました。また、必ずしも教科書通りの構造をしているのではなく個人差が多いことも、この実習で実際に自分の手でご遺体を解剖し、自分の目で観察をしたことにより理解することが出来ました。将来歯科医師になり実際に治療を行うときには、個人差をしっかりと理解し、ひとりひとりに合わせた治療を行っていきたいと思いました。

最後になりますが、献体してくださった方、並びにそのご遺族の方々に改めて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。この経験を活かし、立派な歯科医師になれるよう今後も勉学に励んでまいります。

献体に協力して頂いた方々とそのご遺族の方々、非常に重要な学びの機会をくださり本当にありがとうございました。解剖実習の二か月間の学びはご遺体との向き合い方と、解剖をすることの重要性を学べた印象深い時間でした。

初めてご遺体と向き合ったとき、これまでの人生では感じたことのない責任と緊張を感じました。解剖の教科書には、人としてご遺体とどう向き合うべきか書かれていませんが、解剖実習を通してそれを学ぶことができましたと思います。また、解剖をすることの重要性も実習を通して学ぶことができました。解剖実習を始める前、私はデジタル教材の充実したこの時代に、なぜわざわざ実際のご遺体で学習するのか疑問に思っていました。しかし、実際に解剖を始めてみると、教科書やアトラスで理解した気になっていた構造を実際の体に見出すことはとても難しかったです。教科書の図のようにはっきりした境目は無く、複雑で、個人差も多く、難解そのものでした。なぜ今の時代まで解剖が必須の授業であるかやっとわかりました。

改めて、忘れられない貴重な学びと経験をさせていただきありがとうございます。ありがとうございました。

初めに今回献体してくださった方、ご遺族の方に感謝の気持ちを述べたいと思います。このような貴重な経験をさせてくださり本当にありがとうございます。私自身、解剖実習を経験するまでは人体の構造について本当に無知でした。しかし今回の解剖実習を通じて人体の構造について深く理解することができました。解剖中は班員と協力してどのように解剖すればより上手く解剖できるか試行錯誤しながら解剖していきました。今回の解剖の経験は今後の自分の人生において本当に貴重な経験になったと思います。自分たちの体の中がどのような構造をしているかを実際に見れる機会など普通の生活をしていたらありえません。あらためて献体してくださった方には感謝申し上げます。

最後に、今回の解剖実習を通じて私は人をもっと大切にしなければいけないという気持ちを強く持つことができました。この気持ちは解剖実習しなければここまで持つことは無かったと思います。本当にありがとうございます。

人体解剖実習を行い、解剖をする前に抱いていた目標を達成できたかどうか、そして実際のご遺体を解剖して感じたことについて書こうと思う。

人体解剖実習に参加することを知り、初めはご遺体を目の前にしてしっかりと解剖に参加できるかが不安であった。これまでカエルやブタの臓器などの解剖はしたことがあったが、人体となると解剖するまでの準備も、解剖の内容も桁違いに大変であると聞いていたからだ。そのため、適切な手順に沿って、実習を行うことが目標であった。実際に実習を終えてみて、目標はほぼ達成できたと思う。実際の人体は、教科書で見るとは違えば、はっきりとわからないことや観察するのが難しい時もあったが、班員と協力して苦労しながらも終わることが出来た。

ご遺体を解剖させていただき、このような貴重な機会を提供してくださった故人、そしてご遺族の方々に感謝したいと思った。今回経験したことを無駄にせず、将来の医療につなげていけるよう、勉学に励んでいきたい。

先ずは、解剖実習という貴重な機会を与えてくださった、献体された方と遺族の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

実習前の授業や予習で得た知識と、実際に見た体の構造の位置や大きさには個人差があり、それがとても印象的で面白いと思いました。この実習を始める前、私は歯学部の子生としての自覚を明確に持ててはいなかったと思います。初めてご遺体を目の前にした時は自分の手で実習をこなしていけるか、不安で胸がいつぱいになりました。ですが、回数を重ねるごとに、沢山の興味や学びが生まれるようになり、このような貴重な機会はないと思う気持ちが強くなりました。そして緊張感をもって毎実習を取り組みました。また、歯学に直接的に関わる頭頸部のみならず、全身の解剖を行った経験は今後歯科と全身のかかわりを理解する上できつと役立つと感じました。

これから歯科医師を目指してあと最低でも四年半勉強に励む身ですが、今回の実習で得た学びや緊張感を忘れること無く、精進していこうと思います。

まず初めに、献体をしてくださった方、およびご遺族の方に貴重な機会をくださったことを心より感謝申し上げます。

解剖実習が始まる前に一通り座学で構造を学んではいたものの、実際にご遺体を解剖してみると分かったと思っていたことが実は違ったということが何度もありました。また、教科書の図は簡略化されていたり、実際の構造では人それぞれで違っていて教科書通りではないということもあり、構造物を探し出そうとするたびに苦労したことを覚えています。しかし、そうやって実際に自分の手で解剖して見たことや理解したことこの記憶は座学で学ぶ以上に鮮明に記憶として残っています。実際に、試験勉強の際には座学で勉強したものは覚えにくく、実習で理解したことや見つけたものはすんなりと頭に入れることができました。他の大学の歯学科では全身の解剖をする機会はあまりないということで、今回一生で二度とないかもしれない全身解剖の経験を得ることができました。解剖実習で見たものや学んだものはどれも非常に感動的・印象的であり、今後忘れることはないと思います。

およそ二ヶ月にわたる解剖実習が終了しました。私たちの実習のために献体してくださった方、そして献体を理解し受け入れてくださったご遺族の方々に深い感謝を申し上げます。私はこの解剖実習がそのような人々をはじめとする多くの人々のおかげで実施できたことを心に深く刻みながら解剖実習に取り組みました。

解剖実習の中では、教科書では得られないような学びがたくさんありました。教科書にももちろん様々な図や写真が載っていますが、空間的な体内での位置関係を実際に目にしたり、ご遺体によって教科書に載っている構造があったりなかったり、教科書や講義でわかりづらかったことも実際に見ると理解できました。

この解剖実習は私が入学してから初めて人の体に触れて行った実習であり、一生忘れないと思います。おそらく献体して下さる方やご遺族の方々は、将来を担う私たち医療学生に期待して下さっていると理解しています。そのような期待に応えられるような歯科医師になれるよう、一層身を引き締めて勉学に励んでいきたいと思えます。

初めに、献体してくださった方々、並びにご遺族の方々に心から感謝申し上げます。今回の解剖実習は人生の中で大変貴重な体験となりました。このような学びの機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

この解剖実習が始まる前は、座学では得られない学びを体験できるという期待と同時に自分がやり遂げることが出来るのかという不安も感じていました。

しかし、初日にご遺体と対面した時、医療に携わる者として真剣に向き合い、多くのことを学ぼうという覚悟を決めました。そして、実習が進んでいく中で実際にご遺体を解剖することで教科書だけではわからなかった構造について理解を深めることが出来ました。また、この実習を通して、座学だけでは得られない多くの知識を身に着けることが出来ました。

改めて、献体してくださった方々、並びにご遺族の方々、本当にありがとうございました。この貴重な体験を生かし、立派な歯科医師になれるよう、一生懸命勉学に励みたいと思います。

約三ヶ月の解剖実習を終えて、歯学部生として大きく成長できたと思う。解剖初日、期待と不安と緊張でドキドキしながら解剖室に入った瞬間が鮮明に自分の中に刻まれている。そこから一日に何時間も集中力を保ったまま細かい作業を続けてきた。解剖実習といえば、医学部生が、人体の構造を理解し、将来、治療をできるようにするために行われているものだと思っていた。もちろん、将来私たち歯学部生が足や手の治療をすることはない。しかし、頭頸部につながる様々な血管、器官、神経があり、それらを熟知した上で歯の治療に臨まなくてはならないということを思い知った。また実習を通して、歯学部生が命に関わる職業なのだということを強く身に染みて感じた。

約三ヶ月の解剖実習を通して、ご献体してくださった方の期待に応えられるよう、精一杯猛進した。できる限りのことはした。しかし、教科書で学ぶのとは違い、正解がないものでもあること、それが医療であるということを痛感した。

この三ヶ月の学びを活かし、歯学生として精進していきたい。ありがとうございます。ありがとうございました。

私は二年生になってからヒトの体の構造について学ぶ授業に参加するたびに、とても複雑であり簡単には理解できないという気持ちが強くなってきました。私自身も私の友人も同じような体の構造をしているのだ、と説明されても、具体的に体の中を覗き見ることはできないので、そうなのかな、となんとなく思うばかりでした。

そんな中、解剖実習の授業が始まり、ようやくヒトの体について学ぶことが開始できたと思います。なぜなら、これまで見えなかったところの構造が自分の眼で見ることができたからです。教科書で学んだはずの複雑な構造が目の前で再現されているのです。ここでようやく、学んできたことが繋がっているという気がしました。

他では決して得ることのできない学びを提供してくださった献体者の皆様に深く感謝しております。今の歯学生としての知識のほとんどが解剖実習の学びが基礎となっています。いただいた機会に心より感謝申し上げ、今後の更なる学びに繋がりたいです。

まず、献体してくださった方、及びそのご遺族の方々、この度はわたしたちの医学の学習のために献体に協力していただきありがとうございます。今後医療に従事する身としてとても貴重な体験をさせていただきました。

解剖学実習では、座学での授業だけでは学ぶことができないようなことをたくさん学ぶことができました。本当の人体は決して教科書の図や写真の通りではなく、個人差があるということを実際に見ることで本当の意味で理解することができたと感じました。さらに、ご遺体を実際に解剖することで、今後医療に関わっていく自覚と責任を持つことができたと思います。実習が始まる前は、はじめての解剖学実習に不安の気持ちでいっぱいでしたが、とても意味のある時間になることができたと思います。

最後に改めて、献体してくださった方、及びそのご遺族の方々、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。私たちはまだただの学生ですが、今後は献体してくださった方の思いも背負い、日本の医療に貢献できる歯科医師になれるよう、勉学に励んでいきたいと思えます。

初めに、献体をしてくださった方々及びその御遺族の方々に感謝申し上げます。

人は生きる中で、自身の身体の構造や内部の働きまでを意識して過ごすことはありません。生理学や今回の解剖学を通して学んだ知識は、ご遺体を解剖することによってやく得られるものであり、実際に私自身がその解剖をする側に立つ経験というのは、大変貴重であり刺激となるものでした。

実習でご遺体を前に自らの手で解剖することで、資料や教科書から得た知識を確認することだけでなく、臓器の位置や大きさ、神経や血管の走行に個人差があるという事実も確認出来ました。字だけで学ぶよりも、自身の手で学ぶ実習の意義を再確認することができたと思います。

私がこれから歯学を学ぶ先で、患者に有効で適切な治療を届けるには、何よりも正確な知識が必要とされると考えます。実習で感じた「自らの手で学ぶ大切さ」を常に意識すると共に、正確な知識を得る意欲を忘れることなく、これからも歯学に勤しんで参りたいと思います。

解剖学実習では、人間の身体の内部に深く入り込むという貴重な経験をしました。初めての経験であったため、不安と興奮が入り混じった心境で臨みましたが、終わる頃には忘れることのできないかけがいのない価値ある経験であったと感じています。先生方のお力をお借りして、班のメンバーと協力しつつ三ヶ月に渡り人体の構造を隅から隅までしっかりと学ばせていただきました。この実習を通して、人間の身体は非常に複雑で精巧な仕組みで構築されていることに驚かされました。臓器や組織が完璧に機能していること、私たちが体験する病気や障害がいかに身体の一部の不調で引き起こされるかを理解することができました。また、生と死の現実にも向き合いました。人間の体が無機的な器官だけではなく、

生命に満ち溢れていることを目の当たりにしました。そのため、敬意と感謝の気持ちを持ちながら学びました。また、死と向き合うことは一般的なカリキュラムでは経験できない貴重な機会であり、人生の深い意味を考えさせられる瞬間でもありました。

献体してくださった方への感謝、医療従事者への尊敬を忘れずに、これからも学習を深め、健康と幸福に貢献したいと思います。

先ずは、自身の御体を私たちのために捧げて下さった方及びご遺族の方々に深い感謝を申し上げます。ならびに、私たち学生にこのような大変貴重な体験をさせてくださった献体の会の皆さま、教員の方々に心より感謝申し上げます。

人体解剖学実習を通して、人間の身体の複雑さや興味深さに心が震えました。解剖は何世紀も前から行われておりましたが、現在でも新しい知見が発見されることが大変多いです。血管や神経の走行や筋肉の付着の仕方は教科書通りではなく、本当に人それぞれです。単細胞生物から進化してきた私たちの身体は未だ解明されていない部分が数多く、神秘的と言わざるを得ません。太さ数ミミほどの神経が我々の身体を司っているさまなど、解剖の過程で、様々な分子や細胞が絡み合ってはたらく人体の奥深さを痛感し、益々医学及び歯学に対する興味が湧いてきました。御遺志を胸に、日々勉学に精進していきたく存じます。本当にありがとうございます。

初めに、本実習にあたり献体して下さった方々とそのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。

本解剖実習は私にとって、人体に関する理解を深めるための貴重な学びの機会となりました。人体の構造を学ぶためには、講義を受けたり、教科書や写真を使って勉強したりすることもできます。しかし、実際にご遺体を解剖することでしか学び得ないこともあるのだということを、本実習を通して気付かされました。特に頭頸部の神経や血管の走行は繊細で、解剖を通して理解が更に深まったように思います。中には教科書で見ていたものと走行が異なるものもあり、個体差の理解にも繋がりました。更にこのことから、より良い医療従事者になるためには観察力や対応力が必要であると実感しました。

私がこのようにさまざまなことを学べたのは、献体して下さった方々とそのご遺族の方々の協力のおかげです。改めて感謝申し上げます。これからも勉学に励み、社会に貢献できる歯科医師になるために精進してまいります。

まず、今回の解剖学実習に献体をしてくださった方、並びにご遺族の皆様により感謝を申し上げます。とても貴重な経験をするとともに、様々なことを学ぶことができました。本当にありがとうございました。

今回の実習では、解剖器具の使い方や解剖の心構えなど基本的なことを学ぶところから始まりました。本格的な実習をまだ経験していなかった私たちに、実際に医療従事者になるということを認識させ、身の引き締まる思いを感じさせてくださいました。また、実際にご遺体を見ることで、人体の構造を多面的に理解することができました。図鑑や教科書を見るだけでは、理解することが難しいようなことまで確認することができました。そして、人体は個人によって差があり、一筋縄ではいかないということも理解できました。

私は、今回の実習を通じて学んだことや考えたことは、医療従事者になるに当たり、とても大事なことだと考えています。この経験を今後活かすことができるように頑張っていきたいと思えます。

初めに、私たちにこのような貴重な学びの機会を設けてくださった、献体してくださった方、そしてそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

実際に解剖させていただき、教科書や座学の中だけでは学べない多くのことを学ぶことができました。人体はとても複雑な構造であるということを知ることができました。また、かなり個人差があるといったことも学ぶことができました。実際に自分で解剖をすることで予習をして学んだことの知識が深まりました。初めてご遺体にメスを入れるというとき、とても緊張したことを覚えています。初めはどれだけの構造なのかも分からず非常に難しかった覚えがあります。解剖が進むにつれ、解剖実習を一緒に行った班員とさまざまな議論や知識の交換をし、学びを深めることができました。

この実習で得た知識や経験を活かしてより一層勉学に励み、将来に繋がってきたいと心から思いました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

この度、東京医科歯科大学二年生の解剖実習にご献体してくださいました故人そしてご遺族の方々に、深く感謝いたします。葛藤や不安、そして学生に対する期待など複雑な感情を抱かれたことと思います。皆様のご期待に沿えるよう、精一杯解剖の勉強に取り組み、解剖実習を通して多くのことを学ぶことができました。

解剖実習では、ミクロの世界で人体の構造を学ぶ組織学の講義や、解剖に先立って行われた授業などで得た知識を深めることが出来ました。全実習を通して印象に残った事項として、人体には個体差が非常にみられる、ということが挙げられます。教科書通りに神経や血管が走行している個体はほぼありません。歯科医師として治療を行うために解剖実習で得られた経験と知識は大いに役立つと思います。

解剖実習にご協力いただいた故人とご遺族の方々への感謝を忘れず、今後も精進いたします。

初めに、献体をしてくださった方、そして、そのご遺族様に大変貴重な機会を与えてくださったことに心より感謝申し上げます。

人体解剖学実習は、これまでの勉強でもっとも興味深く、人間の身体の構造の複雑さに驚きました。今までは観察したことのなかった体内を観察することと、臓器や組織の機能を学んでいくことでこれまでには経験したことのないほど濃密で深い勉強をすることができたと思っています。加えて、一人一人の体のおおまかな部分は同じですが、神経や血管の走行や組織の大きさなどは皆違って、生命の多様性について深く学ぶことができました。実際に、目で見て手を使って得た命と向き合った経験や身体の構造について触れた経験はこれから医学について学んで行く上で大きな財産となりました。

最後に、このような貴重な経験をいただいたことに感謝し、将来に向けて、この学びを活かして口腔内だけでなく口腔内からの全身の健康についてさらに深く邁進していければと思っております。本当にありがとうございます。

まず初めに、私たち学生の学びとこれからの医療の発展のために献体してくださった方々、そして御遺族の皆様にご心より感謝申し上げます。

約二か月かけて班の皆と一つ一つ確認しながら丁寧に解剖して、この解剖実習で得られたものはとても大きかったです。教科書だけでは学ぶことができない知識を吸収し、このような経験そのものが学びとなり、本当に貴重な機会となりました。何度解剖を重ねても、あの状況に慣れることはなく、黙祷の時間には毎回新鮮な気持ちで臨み、献体して下さった方への心からの感謝を感じていました。

実習前に様々な筋肉や血管、神経を学んだつもりであっても、実際には人体の構造に個人差があり、正確に剖出することはとても難しかったです。そしてその中で、生きている人に対して手術を行う現役の医師の方たちの技術力の高さを痛感しました。私は将来、歯科医師になるため、今回の経験で得たこの「感覚」というのは必ず将来生かされてくるはずで、これまでの医療の発展に貢献して下さったすべての人々のことを考え、これから四年間しっかりと学び、立派な歯科医師となれるよう努力したいです。